



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社ビー・エム・エル 上場取引所 東
 コード番号 4694 URL <http://www.bml.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)近藤 健介
 問合せ先責任者 (役職名)取締役専務執行役員 (氏名)武部 憲尚 (TEL)03(3350)0111
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	83,712	△12.5	15,448	△43.9	15,572	△45.2	10,332	△44.9
2022年3月期第2四半期	95,700	60.0	27,525	453.4	28,433	439.0	18,761	433.8

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 10,463百万円(△45.4%) 2022年3月期第2四半期 19,170百万円(455.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	261.80	261.63
2022年3月期第2四半期	461.53	461.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	171,048	126,328	70.5
2022年3月期	179,200	121,684	64.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 120,634百万円 2022年3月期 116,163百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	35.00	—	85.00	120.00
2023年3月期	—	40.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	154,000	△17.2	22,000	△55.0	22,500	△55.9	14,500	△57.0	368.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社、除外 — 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期2Q	42,613,626株	2022年3月期	43,514,726株
2023年3月期2Q	3,337,338株	2022年3月期	3,586,202株
2023年3月期2Q	39,469,424株	2022年3月期2Q	40,651,934株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
3. その他	10
販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあり景気の緩やかな持ち直しの動きが見られます。しかしながら、世界的な金融引締めを背景とする海外景気の下振れ懸念や、円安によるエネルギー及び原材料費の上昇等、先行きは依然として不透明な状況です。

このような経済環境のもと受託臨床検査業界におきましては、診療報酬改定の影響に加えて、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い医療機関を受診する患者数が弱含みで推移しております。また、同業他社との競争も続いており、事業環境としては引き続き厳しい状況にあります。

こうした中で、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高83,712百万円（前年同期比12.5%減）、営業利益15,448百万円（前年同期比43.9%減）、経常利益15,572百万円（前年同期比45.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益10,332百万円（前年同期比44.9%減）となりました。当社グループにおきましては、既存検査の受託数は増加したものの、新型コロナウイルス関連検査の診療報酬引き下げの影響により売上高及び利益ともに減少しました。

以下に事業別の概況を報告いたします。

臨床検査事業につきましては、新規獲得を図るとともに、既存ユーザーに対する新規検査項目・独自検査項目・重点検査項目拡販などの深耕営業を実施することで業績の拡大を図りました。しかしながら、新型コロナウイルス関連検査の診療報酬引き下げの影響が大きく、臨床検査事業の売上高は前年同期比13.7%の減収となりました。

食品検査事業につきましては、政府による行動制限の解除に伴い取引先の営業制限が緩和されたことで、食品コンサルティング・微生物検査等の食品検査が持ち直しました。これらにより、売上高は前年同期比7.7%の増収となりました。

以上の結果、検査事業の売上高は前年同期比13.3%の減収となりました。

医療情報システム事業の売上高につきましては、2022年4月にリリースしたクラウド版電子カルテの販売が計画通りに進捗しており、保守売上も堅調に推移しています。さらにオンライン資格確認の受注が好調なことから、前年同期比13.7%の増収となりました。

その他事業の売上高につきましては、調剤薬局事業における診療報酬（薬価）引き下げの影響により、前年同期比0.6%の減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産171,048百万円（前期末比8,152百万円減）、純資産126,328百万円（前期末比4,643百万円増）、自己資本比率70.5%（前期末比5.7%増）となっています。

主な増減項目は、資産の部では流動資産で現金及び預金が971百万円、受取手形及び売掛金が5,428百万円、それぞれ減少しています。負債の部では流動負債で未払法人税等が8,018百万円減少しています。純資産の部では利益剰余金が4,761百万円増加しています。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同期に比べ12,806百万円増加し、87,343百万円となりました。各活動区分別のキャッシュ・フローの状況及び主な増減要因は、以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、6,431百万円の資金収入（前年同期比15,030百万円収入減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が12,606百万円の収入減、法人税等の支払額が6,757百万円の支出増となったことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,144百万円の資金支出（前年同期比804百万円支出減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が638百万円減少したことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、4,302百万円の資金支出（前年同期比1,445百万円支出増）となりました。これは主に配当金の支払額が1,361百万円増加となったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想の修正について

2023年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2022年5月13日発表)	146,000	16,500	17,000	11,000	280円87銭
今回修正予想 (B)	154,000	22,000	22,500	14,500	368円19銭
増減額 (B - A)	8,000	5,500	5,500	3,500	—
増減率 (%)	5.5	33.3	32.4	31.8	—
(ご参考)前期通期実績 (2022年3月期通期)	186,067	48,889	51,077	33,741	833円24銭

通期業績予想修正の理由

2023年3月期の連結業績予想につきまして、2022年5月13日に公表いたしました連結業績予想を上回る見込となりましたので、直近の状況を踏まえ、現時点で入手可能な情報をもとに上記のとおり修正いたします。

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス第7波の影響を受け関連検査の受注が想定を上回って推移いたしました。先行きは依然として不透明ではありますが、新型コロナウイルス関連検査につきましては、徐々に収束していくことが想定されます。このような状況も踏まえ2022年5月13日公表の業績予想を修正いたしました。

※ 上記予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	92,126	91,154
受取手形及び売掛金	36,405	30,977
商品及び製品	467	427
仕掛品	749	857
原材料及び貯蔵品	3,659	3,673
その他	3,737	1,675
貸倒引当金	△75	△57
流動資産合計	137,070	128,708
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	32,337	32,859
有形固定資産合計	32,337	32,859
無形固定資産		
その他	3,973	4,262
無形固定資産合計	3,973	4,262
投資その他の資産		
その他	5,903	5,300
貸倒引当金	△83	△81
投資その他の資産合計	5,819	5,218
固定資産合計	42,130	42,339
資産合計	179,200	171,048
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,672	21,463
未払法人税等	12,600	4,582
賞与引当金	3,616	3,693
その他	14,132	9,223
流動負債合計	52,022	38,963
固定負債		
退職給付に係る負債	2,616	2,660
役員退職慰労引当金	214	207
その他	2,662	2,888
固定負債合計	5,494	5,756
負債合計	57,516	44,720

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,045	6,045
資本剰余金	6,646	6,646
利益剰余金	110,458	115,220
自己株式	△8,057	△8,089
株主資本合計	115,094	119,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	453	247
退職給付に係る調整累計額	616	563
その他の包括利益累計額合計	1,069	810
新株予約権	35	30
非支配株主持分	5,485	5,663
純資産合計	121,684	126,328
負債純資産合計	179,200	171,048

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	95,700	83,712
売上原価	49,339	49,486
売上総利益	46,360	34,226
販売費及び一般管理費	18,834	18,778
営業利益	27,525	15,448
営業外収益		
その他	944	224
営業外収益合計	944	224
営業外費用		
補助金返還額	—	55
その他	37	44
営業外費用合計	37	100
経常利益	28,433	15,572
特別利益		
投資有価証券売却益	—	215
抱合せ株式消滅差益	20	—
その他	0	2
特別利益合計	20	217
特別損失		
固定資産除却損	21	13
その他	51	1
特別損失合計	72	14
税金等調整前四半期純利益	28,381	15,774
法人税、住民税及び事業税	9,368	4,735
法人税等調整額	△189	315
法人税等合計	9,178	5,051
四半期純利益	19,203	10,723
非支配株主に帰属する四半期純利益	441	390
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,761	10,332

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	19,203	10,723
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	△206
退職給付に係る調整額	△47	△53
その他の包括利益合計	△33	△259
四半期包括利益	19,170	10,463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,729	10,073
非支配株主に係る四半期包括利益	440	389

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	28,381	15,774
減価償却費	2,742	2,940
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△215
固定資産除却損	21	13
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,226	5,429
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△724	△82
仕入債務の増減額 (△は減少)	834	△208
未払消費税等の増減額 (△は減少)	383	△3,299
その他	1,034	△1,426
小計	26,448	18,926
法人税等の支払額	△5,772	△12,529
その他	785	33
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,461	6,431
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,764	△2,848
定期預金の払戻による収入	2,659	2,803
有形固定資産の取得による支出	△3,061	△2,422
無形固定資産の取得による支出	△702	△961
投資有価証券の売却による収入	2	404
その他	△82	△119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,949	△3,144
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△686	△692
配当金の支払額	△2,032	△3,393
非支配株主への配当金の支払額	△151	△211
その他	13	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,857	△4,302
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	14,654	△1,016
現金及び現金同等物の期首残高	59,853	88,360
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	28	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	74,537	87,343

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27—2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる当第2四半期連結累計期間に与える影響はありません。

3. その他

販売の状況

検査区分		前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		増減率(%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
検査事業	臨床検査事業 生化学的検査	24,970	26.1	25,731	30.7	3.0
	血液学的検査	5,271	5.5	5,418	6.5	2.8
	免疫学的検査	13,012	13.6	12,950	15.5	△0.5
	微生物学的検査	3,176	3.3	3,167	3.8	△0.3
	病理学的検査	4,400	4.6	4,434	5.3	0.8
	その他検査	39,864	41.7	26,548	31.7	△33.4
	(臨床検査事業小計)	90,695	94.8	78,251	93.5	△13.7
	食品検査事業	2,033	2.1	2,190	2.6	7.7
	検査事業小計	92,729	96.9	80,441	96.1	△13.3
医療情報システム事業		2,231	2.3	2,536	3.0	13.7
その他事業		739	0.8	735	0.9	△0.6
合計		95,700	100.0	83,712	100.0	△12.5

(検査事業における名称の変更)

第1四半期連結会計期間より、ステークホルダーに対し解りやすい名称を使用することを目的として、従来「その他検査事業」としておりました名称を「食品検査事業」に変更しております。

この変更は名称の変更であり、販売の状況に与える影響はありません。